

豊橋市議会傍聴記 (4)

伊藤 秀昭

自民党豊橋市議団を代表して登壇した藤原孝夫氏は、「佐原市長のカラ一が花開くことができるのか、これを決するのばこれから始まる、時(ま)いた種の刈り上げによつて決まります」と質問を始め、市政の諸課題について11項目にわたつて質問した。

議論の中で、市政状況について市長は「扶助費は増加を続け、義務的経費は全体の過半を占め、更には大型事業派の代表質問と10人の一般質問が3月7日から行われた。これを受け4会議で質問した沢田都史子氏は地方創生の取り組みとして、働く意欲ある女立上げ

予算大綱説明で、市制施行111年目の新年度を「先人が培つた110年の経験と成果を継承し、新たな豊橋のまちづくりのスタートの年にしたい」と抱負を述べ、事業の選択と集中により市民満足度を一層高める市政運営に取り組む考えを表明した。

■財政健全化PT

豊橋市議会3月定期例会は2月28日閉会し、2017年度当初予算案などを上程。佐原光一市長は予算大綱説明で、市制施行111年目の新年度を「先人が培つた110年の経験と成果を継承し、新たな豊橋のまちづくりのスタートの年にしたい」と抱負を述べ、事業の選択と集中により市民満足度を一層高める市政運営に取り組む考えを表明した。

■女性が輝くまち

農業王国の人材を確保し、近代農業技術のアジアのモデルにしていきたいと意欲を示した。

■女性が輝くまち

「女性活躍推進法」が施行されて一年、女性の活躍が注目される中で、このような議論がなされる時

豊橋市議会3月定期例会は2月28日閉会し、2017年度当初予算案などを上程。佐原光一市長は予算大綱説明で、市制施行111年目の新年度を「先人が培つた110年の経験と成果を継承し、新たな豊橋のまちづくりのスタートの年にしたい」と抱負を述べ、事業の選択と集中により市民満足度を一層高める市政運営に取り組む考えを表明した。

■女性が輝くまち

選ばれるまちを目指して多彩な議論

市長は「出産や育児を機に離職した女性が再び働くためのサポート、活躍の場を広げるためのスキルアップ支援など頑張る女性の後押しを進めていく。仕事と家庭を両立できる子

性を支援して「いちばん女性が輝くまち」について議論してしながら仕事を続いた。

市長は、5年前から人口の動きをみて、30代以下の各年齢層では概(おおむね)プラスを保つているなど、底堅い面もあることなどから「この地域の特性を最大限に生かした

知県全体が増加したのになぜ豊橋市が減少したのか」と問題提起した。

市長は、5年前から人口の動きをみて、30代以下の各年齢層では概(おおむね)プラスを保つているなど、底堅い面もあることなどから「この地域の特性を最大限に生かした

豊橋市議会3月定期例会は2月28日閉会し、2017年度当初予算案などを上程。佐原光一市長は予算大綱説明で、市制施行111年目の新年度を「先人が培つた110年の経験と成果を継承し、新たな豊橋のまちづくりのスタートの年にしたい」と抱負を述べ、事業の選択と集中により市民満足度を一層高める市政運営に取り組む考えを表明した。

■女性が輝くまち

豊橋市議会3月定期例会は2月28日閉会し、2017年度当初予算案などを上程。佐原光一市長は予算大綱説明で、市制施行111年目の新年度を「先人が培つた110年の経験と成果を継承し、新たな豊橋のまちづくりのスタートの年にしたい」と抱負を述べ、事業の選択と集中により市民満足度を一層高める市政運営に取り組む考えを表明した。

■女性が輝くまち